

学園創立80周年記念「冠事業」報告書

部署名：短大保育学科

氏名：澤 ひとみ

事業名	おもちゃの広場 ～乳幼児対象～
管轄部署	短大保育学科
概要 (日時,場所,内容等)	<p>【日時】 令和4年6月25日（土） 第1回 9：30～10：30 第2回 11：00～12：00</p> <p>【場所】 短大4号館 1階 保育実習室</p> <p>【参加者】 子ども29人 大人23人 学生スタッフ12人</p> <p>【内容】</p> <p>◆開催にむけて行った広報など</p> <p>①市内の子育て支援施設に依頼し、開催案内チラシを配架していただいた。</p> <p>②短大附属幼稚園の乳児クラスの過程に開催案内チラシを配付していただいた。</p> <p>③子育て中の卒業生にも声掛けを行った。</p> <p>◆活動内容</p> <p>①学生のあいさつ（スタッフ、参加した子どもの名前の紹介）</p> <p>②好きなおもちゃを手にとって親子で遊んでもらう。学生も一緒に遊ぶ</p> <p>③学生による手遊びと絵本の読み聞かせ</p> <p>◆あそびや、おもちゃのエピソード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の卒業生の親子参加は、子どもだけでなく母親（卒業生）にとっても、また教員にとっても懐かしく語らう場となるよい機会であった。 ・赤ちゃん用のコーナーで、赤ちゃん連れの若いご夫婦がお子様の様子を笑顔で見守っている姿が印象的であった。子どもの発達を促すおもちゃや使い方を説明すると、熱心に聞いてくださった。 ・保護者の感想は聞けていないが、遊んでいるお子様と一緒に遊びながら、お子様が集中して一生懸命遊んでいる姿や繰り返し遊ぶ姿に出会い、お子様の「遊ぶ力」を感じられてるように見受けられた。 ・学生スタッフは「あそびのポケット」のメンバーである。会場準備や絵本の練習、お土産用のカードづくりなど、子どもたちのために一生懸命取り組んでいた。コロナ禍の中で活動の制限はあるが、今後もこのような活動ができるように支援していきたい。
備考	   

学園創立80周年記念「冠事業」報告書

部署名：短大保育学科

氏名：澤 ひとみ

<p>事業名</p>	<p>おもちゃの広場 ～多世代交流～</p>
<p>管轄部署</p>	<p>短大保育学科</p>
<p>概要 (日時,場所,内容等)</p>	<p>【日時】令和4年11月19日(土) 10:00~11:30 【場所】立教館 【参加者】高齢者の方 15名、学生 5名、教職員 4名 【内容】</p> <p>◆開催にむけて行った広報など</p> <p>①学園で実施している地域交流事業の一つ「合唱講座」の方に開催案内チラシを配布した。 ②短・大学生からなるクラブ「遊びのポケット」のメンバーに向けて当日スタッフとしての参加を募った。 ③学園内の職員に向けて親子参加を募った(残念ながら参加者はなし)</p> <p>◆活動内容</p> <p>①ゲーム大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12種のゲームを用意し、4人組で体験しながら順位を競って遊んだ。 ②秋の歌を一緒に歌った。 <p>◆あそびや、おもちゃのエピソード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コリンドゲームは、「懐かしい」と好評だった。 ・チロリアンルーレットは、最後の玉とコマの動きが止まるまで4人で見守る姿に一体感があり、共にゆったりと優しい時間を共有している姿が印象的だった。 ・てんとうむしジャンケン「ジャンケンしてるだけなのにね。面白いわね」と親テントウムシを楽しそうに動かして遊んでいた。 ・「楽しかった」「目が覚めるわ」「興奮してしまったわ、今日眠れるかしら…」と楽しんでいただけた。 ・学生スタッフも「すごく楽しかった」「早く実習に行きたくなくなった」など、人と触れ合うことや一緒に遊ぶことの楽しさを感じた様子であった。 ・「このゲームはどこで買えるのですか?孫と遊べそう」とおもちゃに興味をもってくださった方もいた。 ・立教館は、懐かしく落ち着いた気持ちで過ごすことができる空間だったので、優しく楽しい時間を共有することができた。
<p>備考</p>	